

令和6年2月 下田市教育委員会定例会 会議録

令和6年2月20日(火)13時30分、下田市教育委員会定例会を下田市立中央公民館中会議室に招集した。

出席委員は次のとおりである。

山田 貞己	教育長
田中とし子	委員
西堀 政幸	委員
宮内 慎也	委員
西川 紀栄	委員

委員以外に出席した者は次のとおりである。

佐々木 雅昭	学校教育課長
平川 博巳	生涯学習課長
土屋 大祐	学校教育課参事
増田 義和	学校教育課 課長補佐兼こども育成係長
鈴木 美鈴	生涯学習課 課長補佐
中堀 啓司	生涯学習課 社会教育係長
齋藤 祐樹	学校教育課 学校教育係長
牧田 浩一	学校教育課 主事

本会議録調製者は次のとおりである。

牧田 浩一	学校教育課 主事
-------	----------

1 開会

13時30分 教育長開会を宣す。

2 会議録署名人選出

会議録署名人に 西川 紀栄 委員を選出。

3 1月定例会会議録承認

事務局より報告、承認。

4 教育長報告事項

2月事業報告及び3月事業計画について、学校教育課、生涯学習課長から資料に基づき説明。

## 教育長

### 児童考案 菓子おいしいよ

・吉佐美の洋菓子店で、朝日小学校6年生の考案した洋菓子が販売された記事です。総合的な学習の時間を使い、洋菓子店とコラボして下田オリジナルの洋菓子を開発し販売したということです。281円から605円まで、1日限定30個で好評だったようです。

### 賀茂のまもりびと ICT活動で防災教育 鈴木智尋先生(賀茂地域局危機管理課主査)

・出向で小学校教諭から県に派遣されています。各学校の防災教育で講師として招かれ子どもたちにわかりやすい説明で評判です。危機管理局に絶えず人材派遣されているため、小学校現場に戻ってその力が還元されこの交流人事が好結果を生んでいます。

### 30代実習助手免職 県教委計6人を懲戒処分

・これ以外にもいくつか事案が載っていますが、県教委が計6人を懲戒処分したという報道です。このあと、臨時の校長会が開かれました。

### 裾野市部活動改革へ 地域移行を軸に来年度に検討委員会発足

・本格的に議論する検討委員会を来年度から立ち上げるということです。

### 函南で交通事故

・東部の中学校50歳の女性室長を減給10分の1、3ヶ月の懲戒処分にしたものです。1月の夕方5時ごろ、交差点で原付バイクと衝突、相手男性は全治6ヶ月。免停60日の行政処分、罰金40万円の刑事処分が出ています。室長とは、事務職員の職名で、ブロックや市、町の地区のリーダーです。

### 世界の貧困問題に向き合う

・下田高校3年生の小野寺くんが投稿欄に掲載されました。確か野球部に入部して頑張っていた生徒さんだっただと思いますが、中学校時代は誠実な生徒で、毎日トイレのスリッパを揃える姿がありました。お母さんも私の教え子でした。

### 伊豆下田元気塾 梅田直樹氏

・3月14日木曜日、文化会館大ホールで講演とトークセッションを行う予定です。渡邊久志さんと子ども図書館を開いてくださっていて、今度17日(土)登録第5号となる下田まちじゅう図書館に登録をしてくださる予定の方です。

### 県内私立高校志願状況

・平均倍率2.34倍。前年度は2.42倍(-0.08ポイント)でした。下田中学校は、併願・単願合わせて15人前後の受験者がいます。6日、7日が受験日でした。合否発表日は16日でした。

#### 母校校舎記憶に刻む 西伊豆・田子小3月で閉校

・地域で協力してキャンドルナイトが行われました。賀茂小学校との統合で3月で閉校となります。夜の校舎で肝試しを行うなど、家庭同士の親睦もねらいとして、家庭教育学級活動の一環として行われました。多くの保護者と児童が準備したとのことです。山本憶久校長は、下田市の4中学校統合時も稲梓中の校長として閉校に携わってくださった校長でした。

#### 元気いっぱい「福は内」 「ぺるりん」と募金活動下田中

・節分行事と、能登半島被災地支援の募金活動です。

#### 過剰な業務に心が疲弊 教員の休職深刻化

・根本的な解決策に乗り出さないとはいませんが、後手に回っています。もっと以前から教員を増やす、定数を改善すべきだと組合でも校長会でも言い続けたのにもかかわらず、実施してこなかったつけが今来ているように感じます。市内でも同様です。

#### 歴史振り返る書籍、絵画、・・・

・日ロ友好の資料が市立図書館に展示されています。2月7日の北方領土の日になんでの開催です。

#### テニスとバスケットの大会結果

・東豆・南豆地区中学校対抗ソフトテニス大会、中学バスケ・ウインター杯が開かれました。テニスは下田中の名はありませんが、バスケは男女ともにベスト4に残ったようです。

#### 下田中2年生 「和菓子」粘土で制作

・2店舗で販売されました。12点が優秀作品で、和菓子としてデビュー。各10個が毎日限定販売されました。値段は、ロロ黒船と五十鈴では若干異なりました。2月11日の伊豆新聞でも取り上げられています。

#### 史跡巡りウォーキング

・4小学校の6年生が参加しました。稲梓小だけ4年生も。好天に恵まれ、子どもたちは十分楽しんだ中で歴史の勉強もできました。マラソンに変わるイベントとしては成功ではないかと感じました。約70人の参加です。

#### 朝日小にグラブ20個

・地元吉佐美区が朝日子ども太鼓が後継者不足で解散し、運営費の積み立てをグラブ20個分に充てたということで、ボール12個も合わせて寄贈されました。大谷選手からの寄贈をきっかけに、地元から、もっと大人数でスポーツに、野球に親しんで欲しいとの願いからです。

1日6コマ充実せず77%

・週6日制の1990年代と週5日制で1日6コマが一般的になった現在の両方を知るベテラン教師の調査です。77%の教員が、週あたりの総数は同じでも現在の方が充実していないという結果になりました。授業が多すぎて、子どもの生活実態に合っていないと東京学芸大の教授は言っています。そのため授業数の削減が必要であり、適切な授業時数を再検討した上で、学習指導要領を見直すべきだとしています。

「孤食」防ぐ地域食堂開店

・6丁目の精肉店だった空き店舗を活用して、地元有志が開店したものです。子どもからお年寄りまで利用できるとのこと。月1回の営業で、4月以降は第3日曜日の予定です。

最後の椎茸菌うち50人 加増野ポーレポーレ 本年度廃止

・住民や親子50人が参加しました。教文会の鈴野さんが張り切っていました。稲梓小の児童が参加したようです。

トークショーや特別展 下岡蓮杖生誕200年イベント 16日から18日

・主催は、毎年6月に慰霊祭を行っている「下岡蓮杖を顕彰する会」。下田に眠っている蓮杖の数々の作品が展示されました。展示会場では下田小学校5年生が、「技の蓮杖」と歌われた校歌を歌い、会場を盛り上げました。この日のために校歌を聴こうと、東京から訪れた卒業生もいました。担任、教頭、校長、支援員さん引率で、参観日にもかかわらず参加してくれました。

酒気帯び運転の下田市職員罰金 下田簡易裁判所略式命令

・昨年12月2日に起こした事案です。時間が経ちましたが、裁判所で処分が確定されて報道されました。

新校名候補は「南伊豆中」制服はブレザー

・南伊豆中学校(186)、南伊豆東中学校(15)、菜の花中学校(13)。令和8年度スタート予定です。現在の南伊豆東中学校を活用とのこと。

記事にはありませんが、名古屋市の教育委員会が校長会等の職員団体から年間200万円の金品を渡されていたというニュースもありました。校長、教頭の登用試験の候補者名簿も一緒に付けられて授受があったとのこと。当市ではもちろんありませんが、そういうことが4年間ほど続けられていたようで驚きました。私からは以上です。何か質疑、ご意見等ございますでしょうか。

全委員

特になし。

教育長

特になしとのことで、教育長報告事項を承認とさせていただきます。

## 5 議事

### (1) 議第3号 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について

(下田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について)

学校教育課長

5ページをお願いします。議第3号 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、下田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を、次の6ページのとおり定めることについて、教育委員会の意見を求めるものでございます。提案理由でございますが、同条例別表の特別職の区分に学校耳鼻科医を追加するためでございます。

それでは改正の内容につきまして、7ページの新旧対照表によりましてご説明申し上げます。左側が改正前、右側が改正後で、右側のアンダーラインを引いてある箇所が今回追加する部分となっております。

改正の内容でございますが、今回の改正におきましては別表中、学校眼科医の次に学校耳鼻科医の項を追加するというもので、報酬の額につきましては単一部位の検査を行います学校歯科医や学校眼科医と同様に1年あたりの基本額を5万円とし、これに加えて児童・生徒数に100円を乗じた報酬額を支給するというものでございます。

これまで賀茂地域内におきましては、松崎町・西伊豆町以外の市町においては耳鼻科医による健診が実施されていなかったところでございますが、今回賀茂医師会のご協力によりまして賀茂地域全域の小中学校の耳鼻科健診を行っていただける耳鼻科医の先生を調整いただけましたことから今回その報酬額を定めるための条例改正を行うという内容となっております。

恐れ入りますが6ページに戻っていただきまして附則でございますが、この条例は、令和6年4月1日から施行するというものでございます。

以上大変雑駁な説明でしたが、議第3号市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について（下田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について）の説明を終わらせていただきます。

よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

教育長

ただいまの説明に質疑、意見等ございましたらお願いします。

全委員

異議なし。

教育長

異議なしということで議第3号 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について（下田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について）は原案のとおり承認することで決定しました。

(2) 議第4号 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について

(令和5年度下田市一般会計補正予算(第6号)教育委員会)

学校教育課長

8ページをお願いします。議第4号 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、令和5年度下田市一般会計補正予算第6号:教育委員会を次の9ページから15ページのとおり定めることについて、教育委員会の意見を求めるものでございます。提案理由でございませぬが、令和5年度下田市一般会計補正予算第6号のうち、教育委員会所管分に関する意見を求めるものでございます。

それでは、補正予算の内容について説明させていただきます。10ページ、11ページをお開き願います。歳入予算でございませぬが、まずは生涯学習課からご説明申し上げます。

生涯学習課長

14款2項6目3節 教育費 国庫補助金 社会教育費補助金 補正額74千円の減額は、学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金として、地域学校協働活動推進員の活動に対する国庫補助の予定でしたが、国庫分も含めて、県費補助として交付されるため、全額、削除するものです。

15款2項7目2節 教育費 県補助金 社会教育費補助金 補正額1,194千円の減額は、文化財保存費として、吉田松陰寓居処耐震補強工事に伴うもので、契約額の確定に基づき875千円を減額するものです。次に、学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金として、国庫補助分も含み、地域学校協働活動推進員の活動費となる事業費の見込額に基づき、54千円を減額するものです。次に、東アジア文化都市2023静岡県地域連携プログラム補助金として、11月21日に開催しました、下田市文学シンポジウムの事業費確定に伴い、265千円を減額するものです。

学校教育課長

18款2項1目12節の奨学振興基金繰入金は16万7,000円の減額で、教育資金利子補給事業や英語力向上プロジェクト事業補助金等基金充当先事業費の確定に伴う減額。20款5項4目20節の雑入11万円の減額は、市町村振興協会公共施設ユニバーサルデザイン化事業助成金を充当しております小学校トイレ改修工事の事業費の確定に伴う減額でございませぬ。

次に歳出でございませぬ。12ページ、13ページをお願いいたします。9款1項2目の事務局費は91万6,000円の減額、また2項1目の小学校管理費の93万9,000円の減額、さらに3項1目の中学校管理費の202万4,000円の減額は、いずれも13ページの説明欄記載の事業の事業費確定に伴う減額でございませぬ。

生涯学習課長

続きまして生涯学習課です。9款4項2目 青少年教育費 6401 青少年健全育成事業 235千円の減額は、歳入で説明させていただきました、学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金の補助事業となるものです。7節 報償費 213千円の減額は、会議等の開催に伴う地域学校協働活動推進員への謝礼となるもので、今年度の謝礼見込額によるもの。

10節 需用費 消耗品費 22千円の減額は、地域学校協働活動推進員の活動に伴う消

耗品費の見込額によるものです。

9款4項4目 芸術文化振興費 6500 芸術文化振興事業 1,680千円の減額は14節 工事請負費 吉田松陰寓寄処耐震補強工事は、契約額の確定によるものです。

9款4項5目 公民館費 6550 公民館管理運営事業 52千円の減額は12節 委託料 浄化槽保守点検等業務は、契約額確定によるものです。

9款4項6目 図書館費 6600 図書館管理運営事業 526千円の減額は歳入で説明させていただきました、東アジア文化都市2023 静岡県地域連携プログラム補助金の補助事業となるもので、文学シンポジウムの事業完了に伴う不用額を減額するものです。7節 報償費 講師謝礼 199千円、10節 需用費 消耗品費 35千円、印刷製本費 177千円、11節 役務費 郵便料 15千円は、事業費確定によるもの。12節 委託料 文学シンポジウム動画作成業務委託 100千円の減額は、出演者から、著作権の了解が得られなかったため、業務の発注ができなかったものです。

9款5項1目 保健体育費 6701 社会体育活動推進事業 4,800千円の減額は、7節 報償費 地域おこし協力隊員 3,300千円 及び 12節 委託料 地域おこし協力隊支援業務委託 1,500千円の減額は、昨年1月末をもって退任した、地域おこし協力隊員に代わって、今年度、7月から1名を採用する予定で募集をし、2名の方の申込みがありましたが、審査した結果、適当な方ではなかったため、不採用といたしました。再度、12月採用で準備を進めて参りましたが、年度末にかけて募集した方が、より多くの方に申し込んでいただけると判断し、企画課の協力により、募集イベントを開催しております。採用を、令和6年5月からとしたため、今年度の予算に関しては、不用額として減額するものです。

めくっていただき、14・15ページをお願いします。9款5項2目 吉佐美運動公園費 6750 吉佐美運動公園管理運営事業 56千円の減額は、12節 委託料 浄化槽保守点検等業務(債務)の、契約額確定に伴う減額となるものです。

9款7項1目 下田市民文化会館費 6900 下田市民文化会館管理運営事業 49,200千円の減額は、12節 委託料 800千円は、下田市民文化会館指定管理料リスク分担分として、電気代の高騰に伴い、増額するものです。

14節 工事請負費 50,000千円の減額は、市民文化会館改修工事のうち、照明設備改修工事の事業費の見込額に基づき減額するものです。

以上、大変雑駁な説明ではございましたが、補正予算に関する説明を終わらせていただきます。ご意見を、よろしくお願いたします。

教育長 ただいまの説明に対して、質疑等ございましたらお願いします。

田中委員 著作権の了解が得られなかったというのは、具体的にどういうことでしょうか。

生涯学習課長  
補佐 動画を公開すると繰り返し再生されるため、流布されていってしまいます。具体例を話すときは各郷土の先生方に了解を取らなければならず、著作権上難しくなります。平野さんの講演は初めての内容だったということもありますが、どの講演でも制限されると思います。概略については図書館のホームページやインスタグラム

に掲載しています。

教育長                    その他質疑、意見等ございますか。

全委員                    特になし。

教育長                    異議なしということで議第4号 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について（令和5年度下田市一般会計補正予算（第6号）教育委員会）は原案のとおり承認することで決定しました。

（3）議第5号 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について  
（令和6年度下田市一般会計予算 教育委員会）

学校教育課長            16ページをお願いします。議第5号 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、令和6年度下田市一般会計予算 教育委員会を、別紙17ページから31ページのとおり定めることについて、教育委員会の意見を求めるものでございます。

提案理由でございますが、令和6年度下田市一般会計予算のうち、教育委員会所管部分に関する意見を求めるものでございます。

18ページ、19ページをお願いいたします。令和6年度下田市一般会計予算のうち教育委員会が所管する各事業につきまして事業別に予算額を記載した表になっております。18ページの民生費に関しましては学校教育課こども育成係が所管する部分になりますが、令和6年度の予算合計は5億7,393万3,000円となり、前年度比較では2,250万3,000円の増となっております。大きな要因といたしましては人件費の増が大きく影響しているものでございます。

19ページは教育費になりますが、学校教育課学校教育係所管分としては1項教育総務費から6項の学校給食費までで小計は6億7,356万円で、前年度と比較して3,435万9,000円の減額となっております。

こちらの要因といたしましては中学校管理事業で稲穂中学校解体工事が終了したことから約1億1,000万円の減額となっておりますが、他の事業においては民生費同様人件費の増額や後ほどご説明いたしますが教育委員会事務局総務事務で新たに地域活性化起業人を導入いたしますことや小学校管理費においては新たに小学校の特別教室への空調設備設置に向けた設計経費を計上したことが増額の要因となっているものと考えております。

生涯学習課長            生涯学習課では333,336千円ということで前年対比142,939千円の減となっております。文化会館、スポーツセンターの工事が主な要因です。芸術文化振興事業の吉田松陰寓寄処の工事がなくなったこと、市史編さん事業の増額に関してはデータ調査費用が増えたこと、図書館ではパートからフルタイムへ変更があったことが増額の要因となっております。



それでは、令和6年度教育委員会所管事項の予算について20ページからの令和6年度主要事務事業の概要調書によりご説明させていただきます。

まず20ページ、21ページは学校教育課子ども育成係の所管になります民生費ですが、まず1550公立保育所管理運営事業の予算額は1億3,132万2,000円で前年比877万7,000円の増。こちらは下田保育所の管理運営経費で、園医報酬及び職員12人、会計年度任用職員12人の人件費が主なものです。

4目民間保育所費の1600民間保育所事業は1億6,673万円で前年比559万7,000円の減。民間保育施設への補助や運営費等に関する経費です。

3歳以上児等の給食費に対し補助する民間保育所給食費補助金、乳幼児(1歳・2歳児)保育と障害児保育に対し補助する多様な保育推進事業補助金の他、民間保育園・子ども園や地域型保育所等に対する運営費が主なものです。

5目認定子ども園費の1670認定子ども園管理運営事業は2億0,665万8,000円で前年比801万6,000円の増。下田認定子ども園の管理運営経費となります。園医報酬及び職員17人、会計年度任用職員21人の人件費の他、白浜・浜崎方面、稲梓・朝日方面の2コースを運行する通園バス運転業務委託が主なものです。

6目放課後児童対策費の1452放課後児童対策事業は、4,387万1,000円で、前年比較751万3,000円の増。市内6か所の放課後児童クラブの会計年度任用職員の支援員23人の人件費が主なものです。

8目子育て支援施設管理運営費の1745地域子育て支援センター運営事業は497万円で前年比39万4,000円の増。地域子育て支援センターの管理運営費で、会計年度任用職員の保育士1人分の人件費が主なものです。

9目子育て支援費のうち1748ファミリーサポートセンター事業は386万6,000円で前年比較58万5,000円の増。会計年度任用職員の保育士1人分の人件費、まかせて会員養成講座業務委託が主なものです。

1749子ども・子育て支援事業は1,651万6,000円で前年比281万5,000円の増。下田メディカルセンターで実施しております病児保育事業に対する補助金820万8,000円の他、令和6年度中に策定します第3期子ども・子育て支援事業計画策定業務委託料680万円が主なものとなっております。

続きまして教育費です。22ページ、23ページをお願いします。9款1項1目教育委員会費は143万2,000円で、教育委員会委員4名に対する報酬が主なもの。

2目事務局費は1億5,185万円で教育長及び事務局職員13名、事務補助の会計年度任用職員2名の人件費の他、小学校7名、中学校2名の外国語指導助手の謝礼、小中学校児童生徒対外派遣費補助金が主なものとなっておりますが、この他新規と記載しておりますが、総務省の地域活性化起業人制度を活用し、学校におけるICT教育の更なる推進に向け、三大都市圏に所在する民間企業からデジタル人材の派遣を受けることを予定しているためこの負担金に700万円を計上しているところでございます。

3目奨学振興費1,197万4,000円は前年度比で128万4,000円の増。ふるさと応援基金や奨学振興基金を活用した事業で、ニューポート市中学生派遣補助金(320万円)や玉川大学との連携による英語力向上プロジェクト事業補助金(150万円)、昨年度まで体験プログラム事業補助金としておりましたが昨年の上智大学との連携協定の締結

を機にさらに活動範囲を広げるべく補助金の名称を小中学校グローバル CITY プロジェクト事業補助金と変更したものが主なものとなっております。

4 目学校教育指導費のうち 6030 児童・生徒適応指導事業の予算額は 510 万 4,000 円で前年度比 66 万 9,000 円の増。不登校児童生徒を支援するため設置しているあじさい教室の会計年度任用職員の相談員 3 名の報酬が主なものでございます。

6031 特別支援教育体制推進事業は 5,028 万 1,000 円で前年度比は 897 万 6,000 円の増。特別な支援を要する児童・生徒を支援するための会計年度任用職員の支援員 24 人分の報酬が主な内容となっております。

5 目の教育振興基金費 950 万 1,000 円、6 目の奨学振興基金費 250 万円は、ともに、ふるさと納税分から返礼品経費を差し引いた額を積み立てるもの。

7 目学校施設整備基金費は、積立金利子を 1,000 円見込むものでございます。

24 ページ、25 ページをお願いします。9 款 2 項 1 目の小学校管理費は 1 億 1,102 万 4,000 円で、小学校 7 校の管理運営経費です。

校医報酬及び会計年度任用職員の用務員と、稲梓小・大賀茂小の複式化解消のための講師の person 費の他、施設管理に関する経費が主なものです。

施設修繕につきましては、当初予算で 640 万円を計上し、学校要望に基づき照明器具修繕や雨漏り修繕、遊具修繕等を予定している他、小学校トイレ改修工事は、市町村振興協会公共施設ユニバーサルデザイン化事業助成金を活用し、校舎内トイレ 3 基の洋式化を予定しております。

さらに新規事業として小学校の特別教室への空調設備設置に向け設計業務委託料 980 万円を計上したところでございます。

次に 2 目教育振興費のうち 6090 小学校教育振興事業の予算額は 4,800 万 6,000 円で前年度比は 1,603 万 7,000 円の増。

会計年度任用職員の学校司書、理科支援員、各 1 名分の person 費の他、パソコンネットワーク保守業務委託や GIGA スクールサポーター配置促進業務委託、パソコン教室や教職員用のパソコンリース料、図書・教材備品購入費が主なものとなっておりますが、教科書改定に伴います教師用教科書指導書の購入費 2,382 万 4,000 円を新たに計上したため、これが増額の大きな要因となっております。

6091 児童援護事業の予算額は 451 万 1,000 円で前年度比較で 21 万 3,000 円の増。路線バスを利用して通学している児童に対する通学費補助の他、要保護・準要保護児童及び特別支援学級に通学する児童の学用品・給食費等を援助するための費用が主なものとなっております。

3 項 1 目の中学校管理費は 5,485 万 1,000 円で、中学校の管理運営に関する経費です。校医報酬や正職員及び会計年度任用職員の用務員、学校事務職員各 1 人分の person 費、スクールバス 2 台の運行業務委託料の他、施設管理に関する一般的な経費を計上しております。

2 目の教育振興費のうち 6190 中学校教育振興事業の予算額は 1,610 万 6,000 円で前年比 312 万 9,000 円の増。会計年度任用職員の学校司書、部活動指導員各 1 名分の person 費の他、パソコンネットワーク保守業務委託や GIGA スクールサポーター配置促進業務委託、教職員用パソコンリース料、図書・教材備品や理科備品の購入費が主な内

容となっております。

部活動支援業務委託は、サーフィン部の休日の海での活動に際し、ボード等の資器材の運搬及び部活動指導員の補助を行うもので、これまで同様に振興公社への委託を予定しております。

6191 生徒援護事業の予算額は 3,586 万 5,000 円で前年度比は 191 万円の増。概ね 2 km以上の距離を通学する生徒に対する路線バス、鉄道、自転車利用に対する生徒通学費補助金 3,302 万 8,000 円と自転車通学者が加入する損害賠償保険への補助金（274 千円）、また要保護・準要保護生徒及び特別支援学級に通学する生徒の学用品・通学費・給食費・修学旅行費等を援助するための費用が主なものです。

6 項 1 目の学校給食費は 1 億 7,055 万 4,000 円で前年度比較は 316 万 9,000 円の増。学校給食センターの管理運営に関する経費で、施設管理に係る光熱水費、給食公会計に係る賄材料費は物価高騰分も含め 7,542 万円を計上しております。

この他一般事務の会計年度職員 1 人分の人件費や学校給食調理配送等業務委託料 5,991 万 5,000 円が主なものとなっております。

26 ページ、27 ページをお願いします。10 款 3 項 1 目の公共学校施設災害復旧費は科目存置でございます。

学校教育課については以上です。

生涯学習課長

28・29 ページをお開きください。事業ごとに説明させていただきます。

9 款 4 項 1 目 社会教育総務費 6350 社会教育総務事務は、49,974 千円で、主なものは、社会教育委員 6 名への報酬、職員 6 名分の人件費、各種協議会への負担金となります。

9 款 4 項 2 目 青少年教育費のうち 6400 青少年海の家管理運営事業は、407 千円で、主なものは、海の家管理業務委託料となります。財源としては、施設の使用料 7 千円を歳入として見込んでおります。

6401 青少年健全育成事業は、1,172 千円で、主なものは、静岡県青少年育成会議への負担金、青少年補導センター補導員及び地域学校協働活動推進員への謝礼となります。

推進員は、現在、下田中学校へ 3 名配置しておりますが、来年度から各小学校へ 1 名配置する予定です。学校との連携調整役などの、地域と学校との協働活動を推進する活動をしていただくこととなります。財源としては、県支出金として、304 千円、国・県から 1/3 ずつの、学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金となります。

6402 青少年活動推進事業は、315 千円で、二十歳の集いとして開催することに要する経費で、主なものは、記念写真撮影の委託料、動画配信業務の委託料となります。来年度は、市民文化会館 大ホールでの開催に戻す予定です。

9 款 4 項 3 目 成人教育費 6450 成人活動推進事業は、238 千円で、主なものは、寿大学、水産・海洋学講座に伴う講師謝礼、家庭教育学級への委託料となります。

9 款 4 項 4 目 芸術文化振興費 6500 芸術文化振興事業は、5,119 千円で、主なものは、文化財保護審議会委員 5 名分及び吉田松陰寓居処の管理のための任用職員 3 名分の報酬、芸術祭・文化財保護に関する経費となります。また、まどが浜文化イベント

実行委員会補助金は、今年度同様、子どもたちを中心にした、スポーツ・文化活動団体等の発表・活動紹介の場として、「Sea&Rainbow We are shimoda kids」を秋に開催する予定です。

財源としては、使用料手数料は、吉田松陰寓寄処の入場料、県支出金は、文化財に伴う権限委譲事務交付金、財産収入は、「松陰先生と我家」など、図書の売り払い代として、諸収入は、歴史講座等による資料代、繰入金 1,000 千円は、まどが浜文化イベントに伴うふるさと応援基金を繰り入れるものです。

9款4項5目 公民館費 6550 公民館管理運営事業は、6,561 千円で、主なものは、公民館運営審議会委員への報酬、公民館3館分の維持管理に必要な光熱水費、修繕料、稲生沢、朝日の2公民館の管理業務の委託料、公民館講座に伴う講師謝礼となります。

稲生沢公民館と朝日公民館については、公民館としての廃止の方針は決定しているところですが、廃止後の市としての活用方針が決まっていないこと、現庁舎の耐震補強工事により、市役所会議室の利用が制限されることなど、公共空間を確保することとの理由で、来年度も当面の間、公民館として管理運営して参ります。

財源としては、使用料手数料 896 千円は、3公民館の使用料、諸収入は、コピー代を見込んでおります。

9款4項6目 図書館費 6600 図書館管理運営事業は、33,529 千円で、主なものは、会計年度任用職員パート2名分、正職員1名分、司書のフルタイム会計年度任用職員2名分の人件費。管理運営に伴う経費として、図書館システムの保守業務委託 1,056 千円、図書館システムの使用料 2,654 千円、備品購入費 2,638 千円で、図書等の購入費となります。

新規に、文学イベント事業講師謝礼 200 千円として、体験型ブック「三島由紀夫編」や、まちじゅう図書館の普及・啓発イベントなどを開催する予定です。体験型ブックは、今年度の「伊豆の踊子編」に続くもので、下田の文学の魅力の発信に努めます。

また、図書館オンラインデータベース使用料 307 千円は、オンラインの辞書・事典のサービスを活用するための使用料となり、80種類以上の辞書・事典を、パソコン等で利用できるようになります。財源としては、諸収入、コピー代を見込んでおります。

次に、めくっていただきまして、30・31ページをお願いします。

9款4項7目 市史編さん費 6650 市史編さん事業は、10,137 千円で、主なものは、市史編さん委員4名分及び市史編さん補助員として雇用する会計年度任用職員1名分の人件費、古文書調査に要する報償費となります。また、下田市史では、考古・古代・中世から構成される通史編(上)の刊行予定に伴い、下田市史の原稿データを作成するための業務委託 2,600 千円となります。

今回から、保存用及び国立・県立図書館等への寄贈品のみを製本し、一般の方には、ホームページから、章ごとなどに無料でダウンロードできる形に変更いたします。財源として、財産収入は、下田市史などの売り払い代と、繰入金 2,600 千円は、下田市史原稿データ作成業務委託に、ふるさと応援基金を繰り入れるものです。

9款5項1目 保健体育費のうち 6700 学校体育施設開放事業は、980 千円で、主なものは、学校開放に伴う市内小・中学校体育施設の夜間照明料の光熱水費など、維

持管理に伴う経費となります。財源として、使用料手数料 511 千円は、夜間照明使用料を見込んでおります。

6701 スポーツ推進事業は、20,167 千円で、主なものは、スポーツ推進委員 9 名分の報酬、地域おこし協力隊員 2 名分の報償費、スポーツ祭の開催業務への委託料、市町対抗駅伝大会下田市選手団派遣業務委託、体育協会他への補助金となります。

また、新規事業として、スポーツ推進計画の策定に伴う、策定委員及びアドバイザーへの謝礼、プロスポーツなどの誘致によるスポーツ教室等の開催に伴う選手への謝礼、下田市スポーツ大会開催費補助金 1,000 千円は、下田・河津間駅伝競走大会を含む、市内での実行委員会等によるスポーツ大会開催に伴う補助金となります。

下田市スポーツ大会等誘致推進事業補助金 1,600 千円は、市外の団体により、一定規模以上の条件により開催されるスポーツ大会等への補助金となります。

来年度、新規に採用する地域おこし協力隊員は、生涯学習課を事務所として使う予定のため、住居や自動車、事務機器の借り上げ料などとなる活動費への補助金 1,271 千円となり、地域おこし協力隊デジタル研修業務委託 550 千円は、他の地域おこし協力隊員と定期的に合同で行う研修へ参加するための業務委託料となります。

下田市スポーツ合宿等誘致補助金 500 千円は、市内において、一定規模以上の条件により開催される合宿に対し、交通費・宿泊費を助成する補助金となります。

3 月定例会において、下田市スポーツ大会開催費補助金、下田市スポーツ大会等誘致推進事業補助金及び、下田市スポーツ合宿等誘致補助金については、補助金交付要綱として、議案審議していただく予定です。財源として、使用料手数料 555 千円は、夜間照明の使用料、繰入金 5,400 千円は、市町対抗駅伝大会 下田市選手団派遣業務委託他 4 件に対し、ふるさと応援基金が当てられております。

9 款 5 項 2 目 吉佐美運動公園費 6750 吉佐美運動公園管理運営事業は、1,691 千円で、主なものは、吉佐美運動公園管理業務委託で、公園の維持管理に要する経費となります。財源としては、施設の使用料となります。

9 款 5 項 3 目 下田市民スポーツセンター管理運営費 6752 下田市民スポーツセンター管理運営事業は、21,571 千円で、主なものは、指定管理者である振興公社への指定管理料となります。財源としては、施設の一時使用料となります。

9 款 7 項 1 目 下田市民文化会館費 6900 下田市民文化会館管理運営事業は、181,475 千円で、主なものは、指定管理者である振興公社への指定管理料となります。

市民文化会館の工事請負費 94,400 千円のうち、市民文化会館改修工事 84,000 千円は、小ホールのスライドドアの改修工事 26,500 千円、エレベーターの改修工事 25,000 千円、外壁改修工事 30,500 千円、ITV の設備更新工事 2,000 千円となります。また、令和 7 年度までの 2 か年の債務負担行為による工事として、小ホールの舞台吊物設備の更新工事 10,400 千円、となります。財源としては、県からの支出金として、10,166 千円を、外壁改修工事への 1/3 補助として、地震・津波対策等減災交付金、使用料手数料は、施設の一時使用料、地方債 84,200 千円は、過疎債を充当しております。

以上、大変雑駁な説明ではございましたが、令和 6 年度当初予算の概要に関する説明を終わらせていただきます。ご意見を、よろしくお願いいたします。

教育長 ただいまの説明に質疑、意見等ございましたらお願いします。

全委員 異議なし。

教育長 異議なしとのことで、議第5号 市議会の議決を経るべき議案の原案の決定について(令和6年度下田市一般会計予算 教育委員会)原案のとおり承認することに決定しました。

#### (4) 議第6号 下田市就学援助費支給要綱の一部を改正する告示の制定について

学校教育課係長 33ページをお願いします。議第6号 下田市就学援助費支給要綱の一部を改正する告示の制定について説明させていただきます。下田市就学援助費支給要綱の一部を改正する告示を別紙34ページのとおり、定めることについて、教育委員会の承認を求めらるるものでございます。

今回の要綱改正でございますが、令和6年度より、金融機関窓口での振込に手数料が発生する見込みのため、支給者を学校長から教育委員会に変更するためでございます。1枚めくっていただいて34ページが今回の改正に係る改め文、35ページが新旧対照表になります。

それでは要綱改正の内容につきましてご説明申し上げます。内容につきましては、35ページの新旧対照表をご覧くださいと思います。左側が改正前、右側が改正後のものとなっております、アンダーラインが引いてある部分が今回の改正箇所でございます。

まず、第6条第1項中「に対し、学校長を通じて支給するものとする」を「が指定する金融機関の口座に振り込むものとする」に改め、

同条第2項を「前項の規定にかかわらず、学校長が受給者から就学援助費の受領に関する一切の権限の委任を受けた場合は、学校長を経て受給者に就学援助費を支給するものとする。この場合において、学校長は、就学援助費個人支給明細書(様式第3号)を作成し、年度内における就学援助費の支給事務完了後速やかに教育委員会の確認を受けるものとする。」に改め、同条第3項を削るものでございます。

34ページへお戻りください。附則でございますが、この告示は令和6年4月1日から施行するものでございます。以上大変、雑駁ではございますが、事務局からの説明を終わらせていただきます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

教育長 ただいまの説明に質疑、意見等ございましたらお願いします。

田中委員 今までの学校長を通じた支給と、今回の金融機関への振込でどう違うのか教えてください。

学校教育課係長 今まででは学校口座に学校教育課事務担当が振り込み、学校長が未納を差し引いた上でご家庭に支給をしていました。今後、振り込む際に金融機関で手数料がかかるようになります。この手数料を負担する予算について決まっていないため、学校を通さず教育

委員会から支給可能な要綱に変更します。教育委員会から支給すれば手数料は出納室で手当するため、予算化の必要がなく、学校が手数料を負担する必要もなくなります。未納がある家庭については学校長から未納を差し引いて支給してもらい、その際にかかる手数料は一旦学校事務担当者に負担していただき、その後教育委員会が手数料を補填する形で検討中です。

今回、就学援助の費用が公金から除外される予定という連絡が来まして、遅くとも10月から対応が必要になります。先んじて要綱を見直して直接払いができるようにしておこうという主旨です。

田中委員 学校としては事務の手間がなくなり助かりますね。

教育長 銀行も今までは手数料を取りませんでした、そういうご時世ではなくなってきたということもあります。その他質疑、意見等ございましたらお願いします。

全委員 異議なし。

教育長 異議なしとのことで、議第6号 下田市就学援助費支給要綱の一部を改正する告示の制定については原案のとおり承認することに決定しました。

#### (5) 議第7号 県費負担教職員の人事の内申について

教育長 議第7号 静岡県費負担教職員人事の内申についてを議題とします。  
本件は人事案件のため、非公開での審議をお願いしたいですがよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

教育長 議第7号 静岡県費負担教職員人事については、非公開で審議を行うこととします。

～非公開審議～

教育長 議第7号 静岡県費負担教職員人事の内申については、原案のとおり承認し、本内容で静岡県教育委員会へ内申します。

#### 6 協議会報告事項

教育長 事務局から協議報告事項がありましたらお願いします。

学校教育課長 教育委員の皆様のうち、田中とし子委員が来たる3月14日をもって任期満了を迎えられます。田中委員には長きにわたる教育委員の実績からも再度ご就任をお願いしたいところではございましたが、ご本人の意向もございまして、この度の任期満了をもって、退任されることとなりました。

田中委員におかれましては3期11年、また平成25年12月から平成27年7月までの期間には教育委員長として、長きにわたり下田市の教育行政への多大なるご尽力、ご協力をいただいております。ここに改めて深く感謝申し上げる次第でございます。

田中委員の退任に伴う新たな教育委員でございますが、前朝日小学校長の佐藤知佐子さんを教育委員候補者としまして、2月29日に開会が予定されております下田市議会3月定例会に教育委員の選任案件としまして提案させていただき予定となっております。ご報告は以上です。

生涯学習課長 下田まちじゅう図書館の登録と廃止についてです。5館目にWITH A TREEまち図書館を登録させていただき、17日(土)に登録証の交付式を行わせていただきました。館長は梅田さんです。場所は西本郷の法務局の隣です。倉庫をうまく改装して、最初にこども図書館を開いていただいて、こどもの本を自由に出し入れできるようになっていました。市のまち図書館は図書館が管理する本が主なので仕組みが違いますが、今回は寄贈本や廃棄本を活用してこども図書館と合わせる形で登録させていただきました。

廃止は登録番号1番のLACまち図書館です。ワーケーション施設のため、ITやコミュニティに関する本を置かせていただき運営していましたが、施設の閉鎖に伴い継続できないと館長より報告がありました。

教育長 LACまち図書館の館長である津留崎さんは浜崎小学校のPTA会長で色々ご協力いただいている方です。今回の閉鎖は残念でした。

続きまして、学校教育課参事、報告事項をお願いします。

学校教育課参事 市内各小中学校の卒業式・入学式の対応についてです。学校から連絡がいきますが、ご協力のほどよろしく申し上げます。事務局は卒業式には出られませんが、入学式には教育長・参事・学校教育課長が手分けをして全校に顔を出すことを考えています。基本的には見守るという形で祝辞等はいただいております。学校によっては記念品の贈呈等お願いされる場合がありますので、その際にはまたご相談させていただければと思います。よろしく申し上げます。

教育長 協議報告事項について質疑、意見等ございましたらお願いします。

全委員 特になし。



教育長 質疑なしとのことで、協議報告事項については終了します。

## 7 その他

教育長 先ほど学校教育課長から話がありましたとおり、田中としこ委員についてはこれをもって最後となります。一言いただきたいと思います。

田中委員 長きにわたり皆様方にお世話になりましてありがとうございます。長くやらせていただいた割には中だるみしてしまって、大変後悔しています。今までは学校が唯一学びの場でしたが、今は10年前と比較して子どもたちは色々な場所で学ぶことができ、今の子は幸せだと思います。反面、教育委員会の皆様は大変そうで、ご苦労様です。

私は12月に本当にショックを受けたことが2つあります。ひとつは定例会に2度遅れてしまったこと。朝は覚えていたのに午後になったら忘れていました。もうひとつは、郵便局の低い段差に足をひっかけて転んでしまったことです。75歳から後期高齢者といいますが、なぜ75歳からなんだろうと思っていたら、自分が75歳になって理解できました。

生涯学習で色々なことをやっていたいいることも今までの取り組みからわかりました。頭と体の健康管理のためにイベントに参加させていただきます。今後ともよろしくをお願いします。

教育長 田中委員には最初は1期だけということをお願いしましたが、それから3期にわたって務めていただきました。地域の方が田中委員に相談して、そこから教育委員会に伝わってくる話もあり、大変助かりました。今後も情報がありましたらいつでも教育委員会にお立ち寄りください。

教育委員会3月定例会を3月26日(火)13時30分から開催。会場は下田市立中央公民館大会議室。

## 8 閉会

2月定例会 2月20日(火)13時30分開会。

教育長 15時15分に閉会を宣す。

会議録署名人